

平成 19 年 3 月 5 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

應典院寺町倶楽部

共同事業者名（いる場合のみ記入してください）

大蓮寺・エンディングを考える市民の会

2 事業のテーマ・タイトル

上町台地「終の棲家」検討プロジェクト

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
8 月	シンポジウム開催（5 日…あしたの"供養"を考える）
9 月	ヒアリング（20 日…大阪市立大学病院・山口悦子医師）
10 月	シンポジウム開催（31 日…大阪発信：お寺の「実力」）
11 月	10 月開催のシンポジウムの事後懇談会（19 日）
12 月	中間発表会で発表（6 日）
1 月	ヒアリング（18 日…大阪市社会福祉協議会）
2 月	シンポジウム「微笑みが開く[地域の看取り]」開催

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	在宅ホスピスなど納得して終末期を迎えられる「終の棲家」の実現のための着想を整理し、シンポジウムにて発表した。その間、僧侶、医師、看護、葬儀関係者、研究者及び大学院生のヒアリングをとおして論点を整理した。シンポジウムには多様な参加者が来訪し、関心層が広がった。
今後の展望	シンポジウムに来訪した多様な層を巻き込み、都心に住まうこと、また都心で生涯を終えることの意義を再認識いただいたが、利便性と効率性を鑑みれば、施設を中心とした看護・医療が選択されやすい。そうしたなかで、関係施設との連携のあり方を検討し、多くの方々にとって納得し、安心して選択できる在宅医療、自宅での看取りを展望していきたい。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。